

5-2 2次安城市多文化共生プランで やったこと (一覧)

基本の考え	おもにすること	おもにすることの例 (★は新たに入れたもの)	安城市がやったこと
1. 多文化共生の考えを知っている人を増やす	(1) 多文化共生の意味をわかるようにする	①多文化共生の大切さを伝える	職員が出張して講座を開く。 パネルを展示してみんなに伝える。
		②市役所が多文化共生の考えを大切に	職員に多文化共生や「やさしい日本語」についての研修をする。
		③外国人市民のことをみんなに伝える★	講座でみんなに伝える。パネルを展示してみんなに伝える。 外国人の統計をオープンデータにする。
	(2) 外国の文化を知ったり、外国と交流する	①外国の文化や習慣を知ることができる場所をつくる	多文化子育てサロンを開く。 イベントのときにパネルを展示する。
②外国の文化を知ったり、交流したりできる講座やイベントを開く		外国の文化を知ったり、交流したりできる講座やイベントを開く。	
③姉妹都市等と交流する		安城市国際交流協会が市民を派遣したり、学生を派遣したりする。	
2. 外国人市民が勉強できる場所等を増やす	(1) 日本語を勉強できる場所を増やす	①日本語教室ができるように手伝える	安城市国際交流協会が大人日本語教室を開く。 日本語教室をやっている団体へ補助金を支払う。
		②子ども日本語教室ができるように手伝える	安城市国際交流協会が子ども日本語教室を開く。 日本語教室をやっている団体へ補助金を支払う。
		③覚えた日本語を使える場所を用意する★	職員が出張して「やさしい日本語」の講座を開く。
		④日本語を教えるボランティアを育てる★	外国人を助けている人と意見を交換する会を開く。 ボランティアの人に講座を開く。
	(2) いろいろな場所や時間に勉強できるようにする	①外国人市民が参加しやすいイベントや講座を開く	「やさしい日本語」を使った講座を開く。
		②外国人市民が日常生活のことを学べる講座を開く	外国人市民に「ごみの出し方勉強会」を開く。
3. 日本人市民と外国人市民が話したりできるようにする	(1) 日本人も外国人もお互いに話しかけやすくする	①通訳・翻訳ボランティア等を探す、育てる★	安城市国際交流協会が通訳ボランティアを探す、育てる。
		②いろいろなどころで使えるコミュニケーションツールを使う、教える	町内会や自治会へポケットトークを貸す。
		③あいさつ等の簡単な外国語をみんなに伝える★	SNS等であいさつの言葉を外国語で紹介する。
	(2) 日本人と外国人が気軽に交流できる場をつくる	①日本人と外国人が交流ができるイベントを開く★	安城市国際交流協会が日本語教室を開いたり、日本の文化を体験できるバスツアーを開いたりする。
		②(仮の名前)多文化共生サロンをつくる★	市民団体と協力して多文化子育てサロンを開く。
		③外国人市民が参加しやすいイベントや講座を開く【再掲】	「やさしい日本語」を使った講座を開く。

基本の きほん かんが 考え	おも 主に 主に すること	おも 主に することの 例 (★は新たに れい あら い 入れたもの)	あんじょうし 安城市が やった こと
4. たくさんの がいこくじんし 外国人市民に わかりやすく じょうほう 情報を つた 伝える	(1) 市役所からの し お知らせを がいこくじんし 外国人市民にも つた 伝わりやすく	①市役所からの し お知らせを がいこくご 外国語に翻訳する。 「やさしい日本語」を つか 使う	市役所に だ 出す しよるい 書類を がいこくご 外国語に ほんやく 翻訳する。
		②市役所からの てがみなど 手紙等を がいこくじんし 外国人市民に おく 送るときの きまりを つくる★	市役所が てがみなど 手紙等を ほんやく 翻訳するときの きまりを つくる。 くに 国や あいちけん 愛知県が つく 作った「やさしい日本語」の てび 手引き等を みんなに つた 伝える。
	(2) 外国人市民に がいこくじんし わかりやすく じょうほう 情報を つた 伝える しく 仕組みを つくる	①外国人市民と「やさしい日本語」で はな 話す	職員に たぶんかきょうせい 多文化共生や「やさしい日本語」についての けんしゅう 研修を する。
		②コミュニケーションツールを うまく つか 使う	ゆびさ 指差しボード、 つうやくしすてむ 通訳システム、 ほんやくそふと 翻訳ソフト、 ぴくとぐらむなど ピクトグラム等を つか 使う。
	(3) 外国人市民への がいこくじんし いろいろな じょうほう 情報を ふ 増やす	①外国人市民に つた 伝わりやすい じょうほうはっしんつー 情報発信ツールを つか 使う	HP、SNS、 じょうほうし 情報誌、 がいこくご 外国語に たいおう 対応した あぷり アプリを つか 使って じょうほう 情報を とど 届ける。
		②外国人市民に つた 伝わりやすい ばんふれつと パンフレット等を うまく くば 配る	がいこくご 外国語に ほんやく 翻訳された ちらし チラシを しみん 市民に くば 配る。
		③いろいろな じょうほう 情報が あつ 集まる ばしょ 場所を ようい 用意する★	あんじょうし 安城市に ひ 引っ越して きたときに がいどぶく ガイドブック等を くば 配る。 つか SNSを使って じょうほう 情報を とど 届ける。
	(4) 建物や たてもの まちの 案内等を わかりやすくする	①建物や たてもの まちの 案内等を わかりやすくする	市役所の し 案内表示を がいこくご 外国語に ほんやく 翻訳する。 かんじ 漢字や かたかな カタカナに るび ルビを ふ 振る。 いらすと イラストを つか 使う。
5. 外国人市民の がいこくじんし 暮らしの く 不安を ふあん 不安を すく 少なくする	(1) 子どもを こ 産んだり う 育てる そだ ときの 不安を ふあん 不安を すく 少なくする	①出産や しゅっさん 子育てに こそだ についての じょうほう 情報を うまく とど 届ける	あか 赤ちゃんの けんこうしんさ 健康診査についての し お知らせを「やさしい日本語」に に して い る。 がいこくご 外国語に たいおう 対応している ぼしてちようあぷり 母子手帳アプリを つか 使う。
		②外国人市民が がいこくじんし 子どもを こ 育てている そだ 人が あつ 集まる ばしょ 場所に い 行きやすくする	こ 子どもを そだ 育てている そだ 人が あつ 集まる たてもの 建物の 案内表示を がいこくご 外国語に ほんやく 翻訳する。
		③外国人市民が がいこくじんし 子育てや こそだ 発達・成長に はったつ せいちょう についての そうだん 相談を しやすくする★	つうやくしすてむなど 通訳システム等を つか 使って そうだん 相談を き 聞く。
		④子どもを こ 育てている そだ 人が あつ 集まる ばしょ 場所を つくる★	たぶんかこそだ 多文化子育て さろん サロンを ひら 開く。 おやこ 親子で い 行くことができる たてもの 建物に がいこくご 外国語に ほんやく 翻訳された えほん 絵本を おく 置く。

基本の 考え

主に すること

主に することの 例 (★は新たに 入れたもの)

安城市が やった こと

5. 外国人市民の 暮らしの 不安を 少なくする	(2) 子どもが 育つことや、 将来 活躍することを おうえん 応援する	①日本語適応指導教室を つくる	日本語適応指導教室の 様子や 課題を みんなで 話す。
		②日本語初期指導教室を 使いやすく する	2つの 小学校に、日本語初期指導教室を つくる。
		③子ども日本語教室が できるように 手伝う【再掲】	日本語教室を やっている団体に 補助金を 支払う。
		④小学校に 行く 前の 子どもが 日本語を 勉強できるようにする。 日本の学校のことを 知ることができる 場所を つくる★	市民団体が 行う プレスクールに 協力する。
		⑤母語の 大切さを みんなで 学ぶ★	多文化子育てサロンで、母語の 大切さについて 話す
		⑥特別な 助けが 必要な 子どもを 助ける	こども園や 幼稚園等に 行き、特別な 助けが 必要な 子どもについて みんなで 話す。
		⑦子どもが 元気に 育つように 見守る。 子どもの 勉強を 手伝う。 子どもが 安心して 過ごせる 場所を つくる★	学校に 行っていない 外国人児童生徒を、毎月、学校から 教えてもらう。
	⑧外国人の 子どもに 進路や 進学について 教える★	担任の 先生や 日本語適応指導教室の 担当者が、 中学校を 卒業した後の 進路について 教える。	
	(3) 地震や 台風等が おきたときの 不安を 少なくする	①地震や 台風等が おきる前に 準備しておくことについて 教える	外国語に 翻訳された 防災ガイドブック、地震ハザードマップを 配る。
		②外国人市民が 地震や 台風等が おきたときの 訓練に 参加できるようにする	外国人市民が 訓練に 参加することの 大切さを みんなに 伝える。
③地震や 台風等が おきたときに 外国人に 情報を 伝える 方法を 決める★		5か国語で 見ることができる 安城市防災行政アプリを つくる。	
④地震や 台風等が おきたときに 通訳を 手伝ってくれる ボランティアを 探す★		災害ボランティアセンターの 立ち上げ訓練で、通訳ができる ボランティアが 必要であることを みんなに 伝える。	
⑤災害時外国人支援情報コーディネーターを つか 使えるように 考える★		災害時外国人支援情報コーディネーターについての 情報を 集める。	
⑥地震や 台風等が おきたときに 外国人市民が 周りの人を 助けられるようにする		避難所を 開く 訓練で 外国人から 意見を 聞く。	

基本の考え	おもにすること	おもにすることの例(★は新たに入れたもの)	安城市がやったこと
5. 外国人市民の暮らしの不安を少なくする	(4) 生活の中で起きる困ったことに応える	①外国人市民に生活についての情報を届ける ②外国人市民が市役所に相談しやすくする★ ③外国人市民の暮らしを見守る仕組みをつくる★ (仮の名前) 多文化共生サポーターをつくる ④交通安全や防犯についての知識を教える ⑤あいち医療通訳システムをみんなに教える	安城市に引っ越してきた外国人に生活ガイドブックを配る。 SNSを使って情報を届ける。 市民課の通訳職員が外国人市民の相談を聞く。通訳システムを使う。 他の市のやりかたを勉強し、多文化共生サポーターについて考える。 外国人実習生や、日本語教室の参加者に交通安全の話をする。 あいち医療通訳システムのチラシを配る。SNSで情報を届ける。
6. 外国人市民が地域で活躍できるようにする	(1) 外国人市民が地域の仕事等に参加することを手伝う (2) 外国人市民に地域の仕事を手伝ってもらう (3) 外国人市民の考えを聞く場所をつくる	①外国人市民が町内会のことを知る場所をつくる★ ②(仮の名前) 多文化共生サポーターをつくる【再掲】 ①外国人市民が地域で活躍できる場所をつくる★ ②地域で活躍している外国人市民を紹介する★ ①外国人市民と定期的な意見を交換できる会を開く	「町内会についての案内」を外国語に翻訳して町内会に配る。 他の市のやりかたを勉強し、多文化共生サポーターについて考える。 町内会がやっている日本語教室を広報誌に載せる。 日本語教室に参加している外国人にインタビューして広報誌に載せる。 外国人市民も参加する懇話会を開く。
7. 多文化共生を手伝う人を探す、育てる	(1) 多文化共生に興味がある人を探す、育てる (2) 多文化共生の活動がたくさんある	①通訳・翻訳ボランティア等を探す、育てる【再掲】★ ②多文化共生に興味がある人を探す、育てる★ ①多文化共生の活動をしている市民や団体と意見を交換する★ ②(仮の名前) 多文化共生サロンをつくる【再掲】★	安城市国際交流協会が通訳ボランティアを探す、育てる。 外国人を助けている人と意見を交換する会を開く。 ボランティアの人に講座を開く。 多文化子育てサロン等のイベントで市民団体と情報を交換する。 市民団体と協力して多文化子育てサロンを開く。